

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成27年3月26日(2015.3.26)

【公開番号】特開2013-179972(P2013-179972A)

【公開日】平成25年9月12日(2013.9.12)

【年通号数】公開・登録公報2013-049

【出願番号】特願2012-44070(P2012-44070)

【国際特許分類】

A 6 1 B 3/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 3/10 R

【手続補正書】

【提出日】平成27年2月5日(2015.2.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光走査により被検眼の複数の断層画像を取得するための撮像光学系と、
撮像光学系により取得された前記複数の断層画像間での A スキャン毎の位置ずれ分布を取得し、取得された位置ずれ分布に基づいて断層画像間の位置ずれを補正する画像処理手段と、
を備えることを特徴とする眼光断層画像撮像装置。

【請求項 2】

画像処理手段は、さらに、基準断層画像に対する対象断層画像の位置ずれ情報を画像単位で取得し、取得された画像単位での位置ずれ情報に基づいて断層画像間の位置ずれを補正する請求項 1 の眼光断層画像撮像装置。

【請求項 3】

画像処理手段は、基準断層画像と対象断層画像との間の位置ずれ情報を、少なくとも 2 つ以上の複数の領域において検出し、基準断層画像に対する対象断層画像の A スキャン毎の位置ずれ分布を得る請求項 1 ~ 2 のいずれかの眼光断層画像撮像装置。

【請求項 4】

画像処理手段は、取得された A スキャン毎の位置ずれ分布に基づいて対象断層画像における各 A スキャンの形成位置を変更する請求項 1 ~ 3 のいずれかの眼光断層画像撮像装置。

【請求項 5】

撮像光学系は、ある横断位置での複数の光走査により該横断位置での断層画像を複数取得し、

画像処理手段は、取得された位置ずれ分布に基づいて前記断層画像間の位置ずれを補正し、補正された断層画像を用いて加算平均画像を得る請求項 1 ~ 4 のいずれかの眼光断層画像撮像装置。

【請求項 6】

撮像光学系は、二次元的な光走査により横断位置の異なる複数の断層画像を取得し、
画像処理手段は、取得された位置ずれ分布に基づいて前記断層画像間の位置ずれを補正し、補正された断層画像を用いて 3 次元データを得る請求項 1 ~ 5 のいずれかの眼光断層画像撮像装置。

【請求項 7】

光走査により被検眼の複数の断層画像を取得するための撮像光学系と、
撮像光学系により取得された前記複数の断層画像間での A スキャン毎の位置ずれ分布を
取得し、取得された位置ずれ分布に基づいて断層画像間の位置ずれを A スキャン単位で補
正する画像処理手段と、を備え、

前記画像処理手段は、取得された位置ずれ分布に基づいて前記断層画像間の位置ずれを
A スキャン単位で補正し、補正された断層画像を用いて加算平均画像を得る眼光断層画像
撮像装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

(1)

光走査により被検眼の複数の断層画像を取得するための撮像光学系と、
撮像光学系により取得された前記複数の断層画像間での A スキャン毎の位置ずれ分布を
取得し、取得された位置ずれ分布に基づいて断層画像間の位置ずれを補正する画像処理手
段と、

を備えることを特徴とする。

(2)

光走査により被検眼の複数の断層画像を取得するための撮像光学系と、
撮像光学系により取得された前記複数の断層画像間での A スキャン毎の位置ずれ分布を
取得し、取得された位置ずれ分布に基づいて断層画像間の位置ずれを A スキャン単位で補
正する画像処理手段と、を備え、

前記画像処理手段は、取得された位置ずれ分布に基づいて前記断層画像間の位置ずれを
A スキャン単位で補正し、補正された断層画像を用いて加算平均画像を得ることを特徴と
する。